

“魅力のある学級づくり”に向けて～どの子にも居場所のある学級を！

【学級経営の機能とは】

各学校においては、児童生徒一人一人が安心して意欲的に学習し、楽しい学校生活を送る中で「生きる力」を育むことが求められています。そのためには、深い児童生徒理解に基づいた教師と児童生徒の信頼関係や児童生徒相互の好ましい人間関係を育てるなど、学級経営の充実を図ることが求められます。

学級経営とは、学校の教育目標を実現するために、学級を基本の単位として展開される教育指導と、そのための条件整備のすべての営みを含めた働きを言います。そして、児童生徒一人一人の学校生活の安定を図り、個性を伸張し社会性を育成していきます。学級経営においては、児童生徒が自分や友達のよさに気づき、それを互いに伸ばし合いながら、自己存在感(自己有用感)を実感していくことが大切です。そこで、児童生徒一人一人の人格を尊重しながら、規範意識を育むなど社会的資質や行動力を高めるよう指導していくことが重要となります。

学習集団として

- ・進んで学ぶ意欲を醸成する
- ・自己存在感を育てる
- ・互いの意見や考えを尊重する

生活集団として

- ・よりよい人間関係をつくる
- ・集団としてのルールや規範意識を育てる
- ・安心して生活できる居場所をつくる



「魅力のある学級」とは「一人一人に「居場所」がある学級」です！！



★安心して学習したり、生活したりできる場所

- ①お互いに認め合える(尊重し合える)関係がある
- ②お互いに何でも言い合え、温かい言葉がけができる(肯定的)
- ③学習や生活する(集団生活をする)上での一定のルールが明確であり、それがきちんと守られている
- ④友達と相談できる場がある
- ⑤教室に学習成果等が掲示され、明るく清潔に整備されている(教室掲示・美化、整理整頓等)

★活動を通して達成感や充実感が得られる場所

- ①自分の役割がある
- ②自分のよさやがんばりが認められる
- ③喜びや楽しみがある
- ④自分で考えたり、判断したり、活動したりする場がある
- ⑤一つのことをやり遂げる時間が保障されている(たとえ失敗してもやり直しができる)



友達がいるから
がんばれる！

一人一人のよさや可能性が認められ、
支え合い、励まし合うことのできる「支持的風土」を醸成することが基盤です！



【学級づくりのポイント】

◆学級づくり(学級経営)の方向性を明確に！

学級全体、そして個々の実態を確かに捉えた上で、明確な目標を決定して取組を考えることが大切です。そして、児童生徒の育ちや変容を細かく捉え評価しながら、取組を見直し、工夫改善します。

◆ルールの習慣化を！

学級集団としてのルールづくりでは、「あいさつ」「チャイム着席(ベル着)」「基本的な学習規律」など、互いに活動(学習・生活)するために当たり前のことを確実にできるように、ていねいに指導することが必要です。その際、児童生徒の発達段階に応じてルールの意味を考えさせたり、自分たちでルールを作って守るような活動を取り入れたりすることが効果的です。

◆「生徒指導の三機能」を生かした学級経営を！

- ・自己存在感を与える
- ・自己決定の場を与える
- ・共感的人間関係を育成する